



「脱、輝く女性宣言!？」

世論では、女性活躍に関して、女性に出産子育てと男性型キャリア形成の両立をしてもらうための社会の仕組みについての議論ばかりが目立ちますが、「出産子育て+キャリア=輝く女性」という図式だけでよいのでしょうか。女性が「輝く」とは、それぞれの多様性を享受し、個性を活かして能力を発揮できる社会を目指すことと、本人の主観で人生の価値を判断できる生き方のことであると考えます。

本会議では、「少子化対策」を女性だけに強いることなく、北海道の全ての女性個人の価値観を尊重する社会をいかに醸成できるか、を議論できればと思います。

目指すは「脱、輝く女性」です。

太田明子ビジネス工房 代表 (EZONA代表) 太田明子

太田明子ビジネス工房を創業後、2003年より3年間、高橋知事の公約である北海道初となる全道13ヶ所3日間での「女性起業家塾」の企画運営を担当。全ての地域で定員25名満席、且つ全日程欠席者なしという熱気溢れる開催となりました。その起業塾をきっかけに多くの女性起業家が誕生。北海道での女性起業家支援の礎を築けたのではないかと自負しており、以降、微力ながら起業支援、調査等を生業としています。

現在は、北海道の土業の女性が集まり主に女性の起業を応援する団体EZONA (エゾーナ) の代表を務め、また、北海道女性活躍支援センターにて初年度より支援員と専門家としてご相談をお受けしています。

これからも、社会参加や問題解決のための手段として起業を志す女性たちに寄り添い、彼女たちの多様な夢や希望の実現に向けて支援してゆくと共に、そんな女性たちのつぶやきや声にならないささやきをも行政に届けていきたいと思っています。

太田明子ビジネス工房代表 太田明子

伊藤萬株式会社財務部資金課にて決算作業等を担当。1993年北海道へ移住。1994年から移住支援のNPO法人私設北海道開拓使の会事務局長、2000年からITベンチャー支援インキュベーションカフェ札幌BizCafe (現NPO法人サッポロビスカフェ) 事務局長を経て2002年独立。その後、北海道内各自治体や企業でセミナーの企画や講師、企業コンサルティングなどを務める。実業では、オリジナル自転車の販売や都市型サイクルーツリズムを実践するサッポロバイクプロジェクト代表を務める。